

第18回

グローバル・フィデューシャリー・シンポジウム

日本の新たなインフレ局面を乗り切るために： アセットアロケーション、リスク・リターン、 変遷する世界情勢における課題と投資機会

本シンポジウムは、年金プランスポンサーやアセットオーナーを対象とし、持続的な成長と回復力を持つポートフォリオをどのように構築するか、日本内外の専門家をお招きし、知見を共有します。11日のDCセッションでは、成長著しい日本のDCプランを成功に導くための課題と戦略に焦点を当てます。12・13日のメインシンポジウムでは、DBプランご担当者やアセットオーナー向けに重要となるアセットクラスをカバー、投資リスクとリターンの管理やガバナンス等について議論します。

2024年 **11月11日** (月)

**DCスポンサー・ラウンドテーブル
DCプログラム**

11月12日 (火) - **13日** (水)

メインプログラム

会場：ザ・リッツ・カールトン東京

都営大江戸線・東京メトロ日比谷線 六本木駅直通 / 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 徒歩3分



伊藤 隆敏

教授
コロンビア大学



宮園 雅敬

理事長
年金積立金管理運用
独立行政法人 (GPIF)



中村 明弘

運用執行理事
企業年金連合会



Elizabeth Fernando

最高投資責任者
国家雇用貯蓄信託 (NEST:
National Employment
Savings Trust)

※参加無料 ※事前登録制 ※会場へのご来場者数には上限を設けております。

詳細・参加登録はこちら <https://globalfiduciarysymposium.com/>



参加対象

- 【年金スポンサー】 (年金基金、事業会社の年金関連部門、公的年金・共済組合)
- 【銀行・生損保の自己投資部門】 (信託銀行、投資顧問、証券会社を除く)
- 【基金運営を行う大学等の諸法人】

メインスポンサー

NOMURA

スポンサー

Federated
Hermes

FRANKLIN
TEMPLETON

三菱地所
MEGP

NATIXIS
INVESTMENT MANAGERS

TD
TD Global Investment Solutions

T.Rowe Price

ガバメントスポンサー



UK Government

アソシエイトスポンサー

WORLD
GOLD
COUNCIL

アソシエイトパートナー

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構
Research Institute for Policies on Pension & Aging (RIPPA)

メディアパートナー

オルイン

J-MONEY
機関投資家・金融プロフェッショナルのための

Quick

DCスポンサー・ラウンドテーブル

11月11日(月)

10:30
~
12:00

日本の確定拠出年金の重要トピックについて、DCの制度管理・運営に取り組んでおられる他社の方々と意見交換する機会です。

「DCスポンサー・ラウンドテーブル」はグローバル・フィデューシャリー・シンポジウムが今年開始する新しい試みです。意見交換は少人数で行い、日本の著名なコンサルタントや研究者らが、皆さまの活発な意見交換をサポートします。

DCプログラム

11月11日(月)

13:00
~
18:10

- 2024年年金財政検証とその課題
- 米国退職年金市場のインサイト
- 職場は従業員の資産形成にどう貢献できるか？ — 米国の事例からの示唆
- ファイナンシャルウェルビーイングの実現に向けて
~DC加入者のエンゲージメントを高める為にプランスポンサーが果たすべき役割~
- イギリスの年金自動加入開始から10年の歩みと学び

メインプログラム

11月12日(火)

8:50
~
19:30

- 日本の年金基金・退職金制度の課題とサステナブルな発展に向けて (仮)
- 日本の公的年金制度の役割と課題
- 企業年金運営のあり方再考：アセットオーナー・プリンシプルと受託者責任
- セカンダリー・プライベート・エクイティの飛躍的成長と展望 (仮)
- 新局面を迎えたプライベートアセット ~年金運用へ付加価値をもたらすゲートキーパーの役割~
- 【ランチョンセミナー】 ESG・サステナブル投資と企業価値
- グローバルにおける年金投資家のエンゲージメントへの取り組み
- 年金におけるサステナブルファイナンス取り組みへの示唆 (仮)
- 「AI：勝者が大半を手にする」労働市場と生産性への影響並びにスーパースター企業と市場集中。はらぺこあおむし：データセンターと電力需要。結局のところ、どのように投資すべきか。そしてAIは既にバブルか。
- 米国不動産投資市場の現況及び新たなトレンド
- 株式市場におけるパラダイムシフト：アクティブ運用の真髄
- 東証改善要請の浸透と今後の企業価値拡大に向けての方向性
- 年金における株式投資の再考察

- インベストメント・チェーンにおける企業年金の役割と期待
- 今後の道筋：競争市場におけるインフラのソーシングとストラクチャリング
- 変動期を経た今後の不動産投資
- 貿易金融の仕組み、魅力およびリスク
- 2024年の政治が2025年の市場に与える影響 (仮)
- 新局面を迎えるグローバルマクロ、マーケット見通しと投資へのインプリケーション
- GPIFの現在と今後の課題~今中期目標期間を振り返って~

11月13日(水)

9:05
~
17:00

詳細・参加登録はウェブサイトをご覧ください。 <https://globalfiduciarysymposium.com/>

お問い合わせ:

グローバル・フィデューシャリー・シンポジウム事務局

gfs@mci-group.com 03-3508-9031 (平日9:30~17:30)